

平成30年10月5日

大正小学校保護者様

横浜市立大正小学校

校長 山崎 浩一郎

平成30年度全国学力・学習状況調査 結果と考察について

毎年6年生を対象に行われている、全国学力・学習状況調査について報告致します。

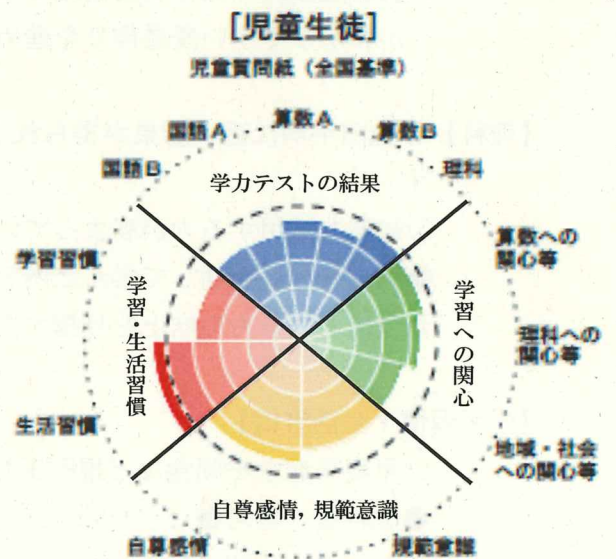
全国平均との比較

右の円グラフは4つの観点で示されています。上側が学力テストの結果、左側は、子どもの学習・生活習慣に関するアンケート結果、右側は、学習への関心についてのアンケート結果、下側は、自尊感情や、規範意識についてのアンケート結果です。

内側の点線は、全国の平均です。点線を越えていれば全国平均を上回っており、内側にあれば全国平均を下回っていると言えます。学力テストの結果については、全国的に平均を下回っていることがわかります。

国語Aや算数Aの問題は、身に付けておかなければ、後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした出題です。

国語Bや算数Bの問題は、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした出題です。



各教科の成果（○）と課題（●）今後の授業のポイント（☆）

【国語】○日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うことはできています。

●文の中における主語と述語との関係に注意して、文を正しく書くことが課題です。

☆正しく書く必要性を実感できるよう、相手や目的を明確にした実用的な文章を書く取組を進めています。

☆朝学習の時間を通して、いっそう基礎・基本の定着を図るようにします。

●相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べながら考えをまとめることが課題です。

☆相手の意図を捉えながら聞くために、自分の考えをもって参加できる取組や場の設定の工夫を継続して行っています。

【算数】○基礎的な知識や技能についての正答率は高いです。

●Bの知識や技能を活用する力が不十分です。

☆本年度も少人数授業やT・T（ティーム・ティーチング）による学習の形態をとり、個に応じた学習の充実を進めています。

☆視聴覚教材や具体物を活用しながら、ユニバーサルデザインを意識した授業や、誰もがわかりやすい授業作りを進めています。

【理科】○全国平均に近い結果が得られました。基礎的・基本的な知識が身に付いてきています。

○知識を活用する力が高まっています。

●実験や体験を通して学んだ内容と、そうではない内容では、思考力に差があります。

☆今後も思考力の向上を目指すため、体験活動の充実を授業の中で図っていきます。

【学習習慣・生活習慣】

○早寝早起きや朝食など規則正しい生活習慣が全国より上回っています。

●教科書や参考書などを除いた、「読書」の時間が少ないです。

☆朝読書の時間や地域の方の読み聞かせ、図書室での本とのかかわりなどの時間を通して、様々なジャンルの本に慣れ親しむようにしていきます。

一人ひとりの結果をしっかりと分析することを通して、どの子にも確かな学力が身に付くよう、今後とも子どもたちにとって、よりわかりやすく必要感のある授業作りに励んでいくとともに、個に応じた指導の充実を図っていきます。

子どもたちの成長のために、学校・地域・家庭のより一層の連携・協力を進めていきたいと考えております。引き続きご協力のほど、よろしくお願い致します。